



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年11月10日

上場会社名 オリエンタルチエン工業株式会社  
 コード番号 6380 URL <http://www.ocm.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 西村 武  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部マネージャー (氏名) 金谷 武志

TEL 076-276-1155

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,957	24.0	87	302.5	115	452.1	73	586.6
2022年3月期第2四半期	1,578	13.7	21		20		10	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	53.28	
2022年3月期第2四半期	7.76	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	4,177	1,530	36.6	1,103.93
2022年3月期	4,109	1,456	35.4	1,050.85

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 1,530百万円 2022年3月期 1,456百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,698	10.2	142	31.5	174	47.2	109	288.6	79.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	1,467,233 株	2022年3月期	1,467,233 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	81,108 株	2022年3月期	80,983 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	1,386,225 株	2022年3月期2Q	1,386,430 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が低水準で推移し、国内外において経済活動の抑制が緩和される中、企業の生産活動や設備投資には持直しの動きが見られました。一方、ウクライナ情勢を背景とした資源価格の高騰、多岐におよぶ物価の高騰、為替市場での急速な円安進行、新たな変異株の感染による感染再拡大のリスク等、景気に悪影響を及ぼす様々な要因があり、先行きは依然として不透明な状況が継続すると見込まれます。

このような状況下にあって当社は、市場の多様なニーズへの対応力を高め、受注拡大に向けての製品の差別化や、コスト削減、工場の生産性を高める取り組みを継続・強化してまいりました。コロナによる制限が緩和されたことにより国内外の受注動向に改善の傾向が見られ積極的に営業活動を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は1,957百万円（前年同四半期比24.0%増）、営業利益87百万円（前年同四半期比302.5%増）、経常利益115百万円（前年同四半期比452.1%増）、四半期純利益73百万円（前年同四半期比586.6%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①チェーン事業

国内では、土木建機業界向け等一部に減少がみられましたが、工作機械業界や搬送機械業界向けが大きく増加し、多くの業界向けに回復の兆しが見られました。一方、輸出においても、北米、アジア向けが大きく増加しました。これらの結果、売上高は1,830百万円（前年同四半期比25.2%増）、営業利益は147百万円（前年同四半期比77.4%増）となりました。

#### ②金属射出成形事業

医療機器分野での受注が増加し、一時的に自動車業界向けの受注が増加しました。その結果、売上高は120百万円（前年同四半期比30.9%増）、営業利益は27百万円（前年同四半期比343.1%増）となりました。

#### ③賃貸不動産事業

賃貸不動産事業につきましては、テナントの移転の影響により、売上高は5百万円（前年同四半期比74.3%減）、営業損失は1百万円（前年同四半期は営業利益12百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債および純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、4,177百万円で、前期末に比べて67百万円増加しました。これは、前期末と比べ、現金及び預金が減少し、受取手形、売掛金、棚卸資産等が増加したことを主要因として、流動資産が2,471百万円と98百万円増加、また、固定資産が1,706百万円と31百万円減少（有形固定資産が21百万円減少）したことによるものです。

##### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、2,647百万円で、前期末に比べて6百万円減少しました。これは、前期末と比べ、支払手形等の増加を主要因として、流動負債が1,507百万円と59百万円増加したこと（支払手形が99百万円、買掛金が50百万円増加、その他の流動負債に含まれる設備未払金、設備支払手形がそれぞれ37百万円、59百万円減少）、また、固定負債が1,140百万円と65百万円減少（長期借入金30百万円、退職給付引当金が16百万円減少）したことによるものです。

##### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、1,530百万円で、前期末と比べ73百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は前期末の35.4%から当第2四半期会計期間末は36.6%になりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ72百万円減少し、267百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得た資金は133百万円（前年同四半期は169百万円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期純利益110百万円、減価償却費88百万円、売上債権の増加78百万円、仕入債務の増加150百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は172百万円（前年同四半期は51百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出160百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は35百万円（前年同四半期は75百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入による収入500百万円、短期借入金の返済10百万円、長期借入金の返済による支出525百万円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期第2四半期累計期間の業績につきましては、2022年8月10日に公表いたしました業績予想との間に差異が生じております。また、2023年3月期通期の業績予想につきましては、2022年8月10日に公表いたしました業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日公表の「第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	389,452	317,208
受取手形、売掛金及び契約資産	1,131,071	1,210,003
商品及び製品	171,098	174,452
仕掛品	383,623	436,774
原材料及び貯蔵品	263,074	311,322
その他	34,449	21,805
貸倒引当金	△290	△310
流動資産合計	2,372,479	2,471,256
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	382,233	372,250
機械及び装置（純額）	484,392	476,259
土地	339,490	339,490
建設仮勘定	100,878	86,070
その他（純額）	63,349	74,410
有形固定資産合計	1,370,343	1,348,481
無形固定資産	35,158	31,800
投資その他の資産		
投資有価証券	92,113	87,349
その他	239,889	238,525
投資その他の資産合計	332,002	325,875
固定資産合計	1,737,505	1,706,157
資産合計	4,109,985	4,177,414

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	493,471	593,470
買掛金	178,969	229,197
短期借入金	437,244	431,967
未払法人税等	51,713	46,302
契約負債	28,439	16,393
賞与引当金	42,183	54,737
その他	215,961	135,156
流動負債合計	1,447,983	1,507,225
固定負債		
長期借入金	852,695	822,672
退職給付引当金	306,215	289,440
役員退職慰労引当金	27,890	27,890
その他	18,467	—
固定負債合計	1,205,268	1,140,003
負債合計	2,653,252	2,647,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,066,950	1,066,950
資本剰余金	168,230	168,230
利益剰余金	265,111	338,964
自己株式	△50,433	△50,527
株主資本合計	1,449,857	1,523,617
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,875	6,567
評価・換算差額等合計	6,875	6,567
純資産合計	1,456,733	1,530,185
負債純資産合計	4,109,985	4,177,414

## (2) 四半期損益計算書

(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,578,158	1,957,454
売上原価	1,325,485	1,610,722
売上総利益	252,672	346,732
販売費及び一般管理費	231,051	259,698
営業利益	21,621	87,034
営業外収益		
受取利息	10	10
受取配当金	2,830	3,099
為替差益	2,461	21,815
その他	4,360	8,127
営業外収益合計	9,663	33,053
営業外費用		
支払利息	5,386	4,163
その他	5,013	607
営業外費用合計	10,399	4,770
経常利益	20,885	115,317
特別利益		
固定資産売却益	0	149
特別利益合計	0	149
特別損失		
固定資産廃棄損	201	1
投資有価証券評価損	—	4,519
特別損失合計	201	4,520
税引前四半期純利益	20,685	110,946
法人税、住民税及び事業税	16,404	36,440
法人税等調整額	△6,476	653
法人税等合計	9,928	37,093
四半期純利益	10,756	73,853



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	20,685	110,946
減価償却費	75,795	88,791
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△20	20
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,109	12,554
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,002	△16,774
受取利息及び受取配当金	△2,841	△3,110
支払利息	5,386	4,163
為替差損益(△は益)	△445	△2,699
固定資産売却益	△0	△149
固定資産廃棄損	201	1
投資有価証券評価損益(△は益)	—	4,519
売上債権の増減額(△は増加)	43,441	△78,931
棚卸資産の増減額(△は増加)	△76,087	△104,753
仕入債務の増減額(△は減少)	94,452	150,227
未払消費税等の増減額(△は減少)	△34,486	11,162
その他	29,167	342
小計	173,358	176,308
利息及び配当金の受取額	2,841	3,110
利息の支払額	△5,281	△4,174
法人税等の支払額	△1,517	△41,902
営業活動によるキャッシュ・フロー	169,401	133,341
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△43,956	△160,546
有形固定資産の売却による収入	0	149
無形固定資産の取得による支出	△3,000	△112
投資有価証券の取得による支出	△780	△781
貸付けによる支出	—	△600
貸付金の回収による収入	280	440
定期預金の預入による支出	△50,000	△50,000
定期預金の払戻による収入	50,000	50,000
預り保証金の返還による支出	△4,168	△18,467
その他	268	7,027
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,356	△172,891
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△310,000	△10,000
長期借入れによる収入	493,680	500,000
長期借入金の返済による支出	△108,018	△525,300
自己株式の取得による支出	△2	△93
財務活動によるキャッシュ・フロー	75,659	△35,393
現金及び現金同等物に係る換算差額	445	2,699
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	194,150	△72,244
現金及び現金同等物の期首残高	344,675	339,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	538,826	267,208

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,462,769	92,194	23,194	1,578,158	—	1,578,158
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,462,769	92,194	23,194	1,578,158	—	1,578,158
セグメント利益	82,890	6,128	12,669	101,688	△80,067	21,621

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,830,838	120,655	5,960	1,957,454	—	1,957,454
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,830,838	120,655	5,960	1,957,454	—	1,957,454
セグメント利益又は損失 (△)	147,047	27,153	△1,370	172,830	△85,796	87,034

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。